

# 令和6年度西部支部大会参加上の注意

## 【体育館入場について】

- (1) 座席・入場順は基本指定とする。
- (2) 上履き・下履きの区別をつける。(下履きは各自用意した袋に入れて持ち運びすること)

## 【服装について】

- (1) 競技時の服装は、相手又は観客に不快な感じを与えないようなウェア、シューズを着用すること。色付き着衣及びシューズを着用する場合には、(公財)日本バドミントン協会の審査合格品とする。
- (2) 上衣の背面中央に縦15cm、横30cmの大きさを高等学校名を日本文字で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。ゼッケンを使用する場合は、同サイズで白の無地とし、文字の色は黒色又は濃紺色とする。(新しく版を作る場合は日バの24条・全国高体連の申し合わせを確認してそれに沿って作成する。)
- (3) ルーズソックスは禁止する。
- (4) アクセサリー類の着用を禁止する。
- (5) 女子の髪留めは、目立たないものとする。落下の可能性のあるバレッタ等も原則禁止とする。

## 【試合時について】

- (1) (公財)日本バドミントン協会検定合格水鳥シャトル(第1・2種)を使用する。
- (2) シャトルは、適正なものを使用する。
- (3) シャトルは各校持ち寄りとし、互いのシャトルを平等に使用する。
- (4) シャトルの交換は両方のサイドが同意すれば、審判は原則的に認める。一方のサイドのみが希望するときは、必要ならば主審が試打をさせて決定する。
- (5) 汗拭き・給水等で、プレーヤーがコートを出るときは、主審の許可が必要である。
- (6) インターバルは、各ゲームで途中スコアが最初に11点になったときに最大6.0秒、各ゲームの間は最大120秒とする。アドバイス等は同時に最大2名まで。
- (7) ケガ等でプレーを中断しなければならない場合、主審はレフェリーに連絡し処置する。
- (8) 試合中に、審判上の問題があったとき、選手は審判に「質問」ができるが「抗議」はできない。
- (9) 審判上のトラブルが起こったときは、本部の役員まで連絡する。
- (10) フロア内での給水は、許可された体育館のみとする。飲み物は直接床に置かない。ただし、クーラーボックスの持ち込みは禁止する。(クーラーバッグは可)
- (11) 団体戦において、ベンチに入れるのは監督・コーチ・マネージャー・登録選手のみとする。
- (12) 試合の妨げになる応援はしてはならない。
- (13) ネットに手をかけたり、くぐったり、持ち上げたりしない。
- (14) 相手を威嚇することのないように心がける。
- (15) 試合終了後は、速やかに審判ができるように努める。
- (16) ベンチでのスマートフォンやタブレット型端末などのデバイスの使用は禁止とする。

## 【その他】

- (1) 開会式には必ず全員参加すること。
- (2) ゴミは必ず持ち帰り、途中で捨てないこと。顧問は生徒の座っていた場所を最後に確認する。
- (3) フロアにおいて、試合中の給水以外の飲食は禁止する。
- (4) 貴重品の管理は、各自が確実に行う。
- (5) 体育館のフロアは必ず体育館履きを履くこと。(サンダル・スリッパ不可)
- (6) 保護者はフロアへは降りられない。
- (7) 座席において不用意な点灯をしない(カメラのフラッシュ、スマホのライト等)
- (8) 観客席から物を落とさない。また、落とさないように注意する。